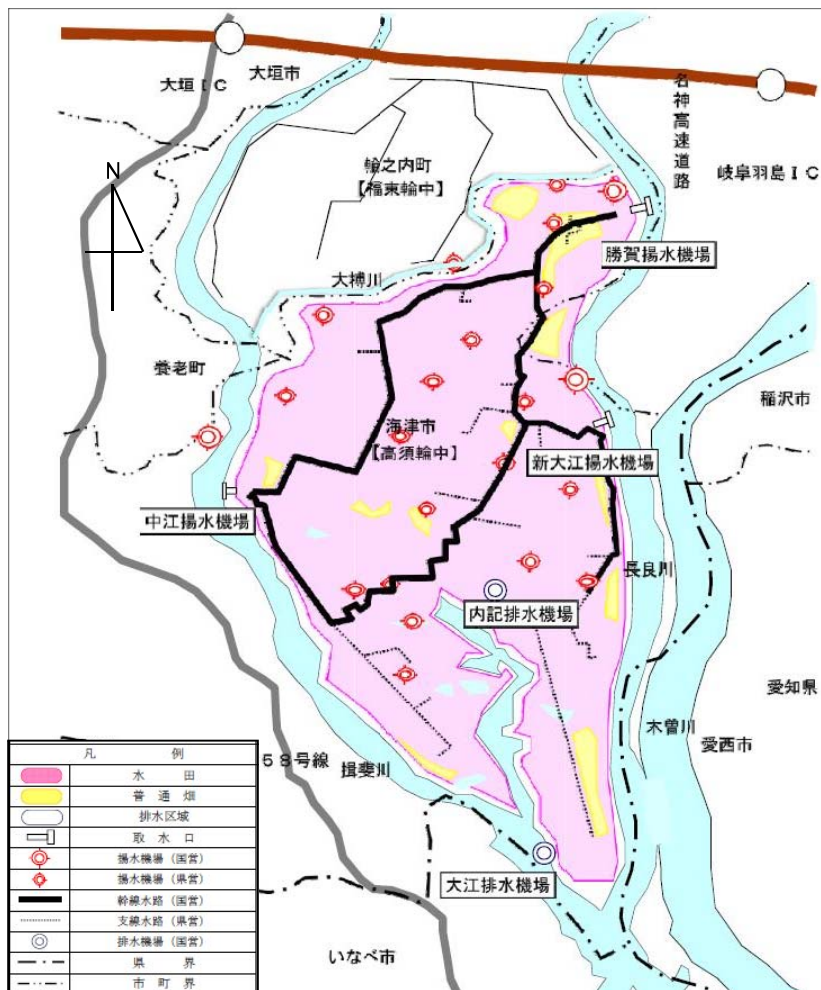


### 3. 国営長良川用水地区の事業概要

- 前歴事業により、用排水施設等の農業基盤整備が実施されてきたが、昭和40年代後半から昭和50年代にかけて、施設の老朽化、逆潮利用地域の取水障害などの問題が生ずるとともに、地元から農作業の機械化・近代化に対する要望が高まってきた。
- このような問題に対処するため昭和55年度から平成9年度にかけ、国営長良川用水農業水利事業が実施された。
- 本事業により、用排水施設の整備が進められ、大規模営農の展開や水田畑利用(汎用耕地化)が可能になり、農業生産性の向上、農業経営の安定化が図られた。



- ・受益面積 3,030ha  
(田2,760 畑270ha)
- ・主要工事計画  
用水機場2箇所  
排水機場2箇所  
用水路6条 26.1km
- ・受益市町村  
岐阜県 海津市、羽島市
- ・工期  
昭和55年度～平成9年度



中江揚水機場



大江排水機場

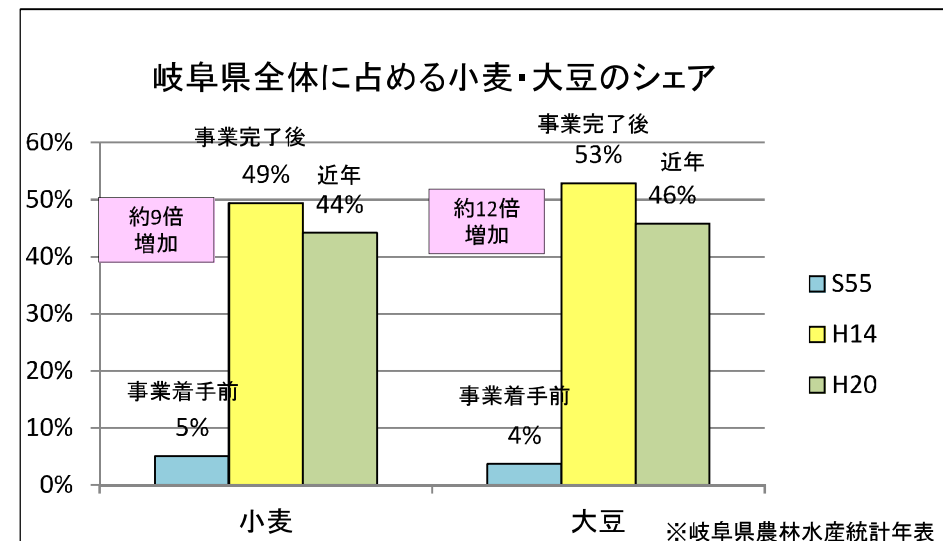
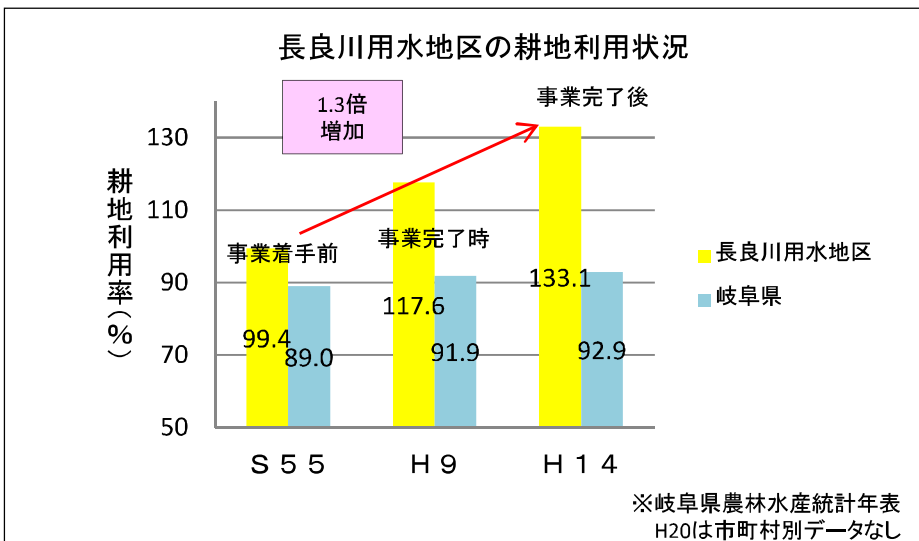
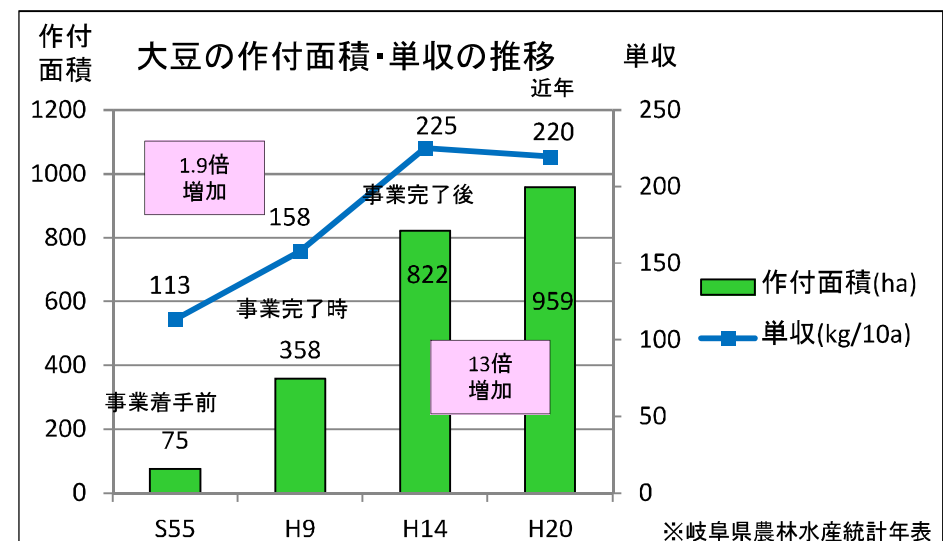
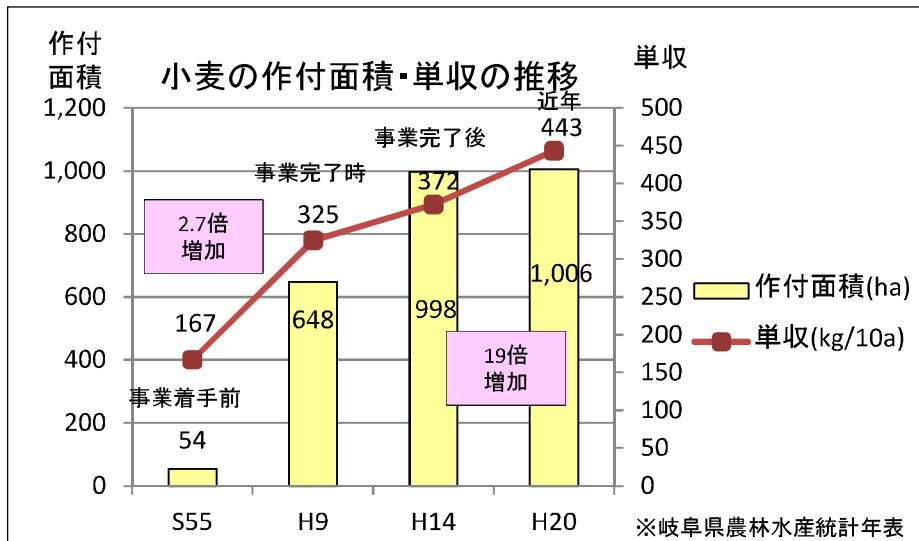


勝賀幹線水路

# 4. 事業の効果

## (1) 小麦・大豆生産の大幅な増加

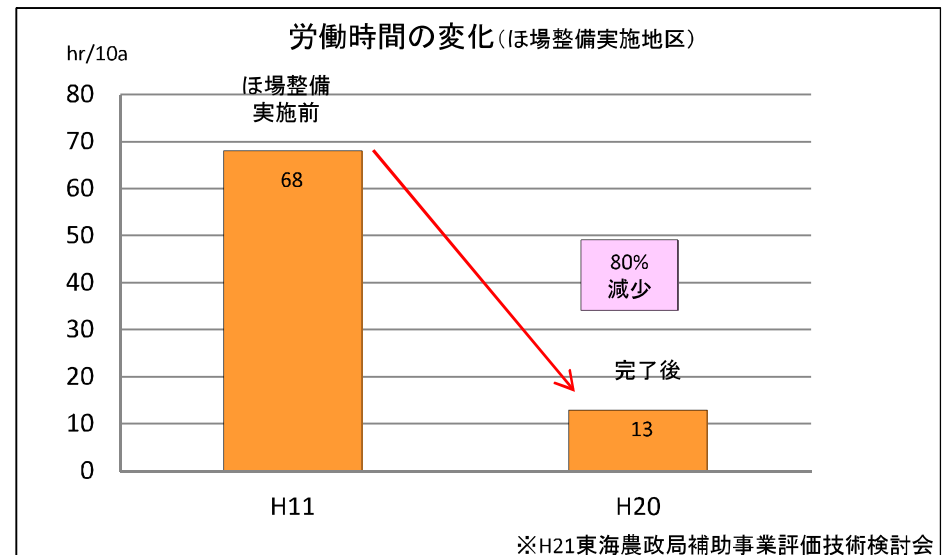
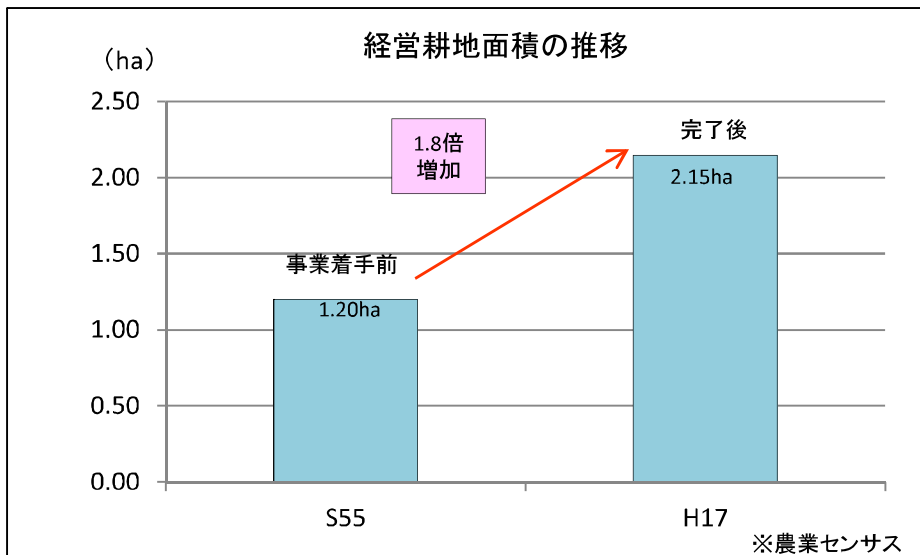
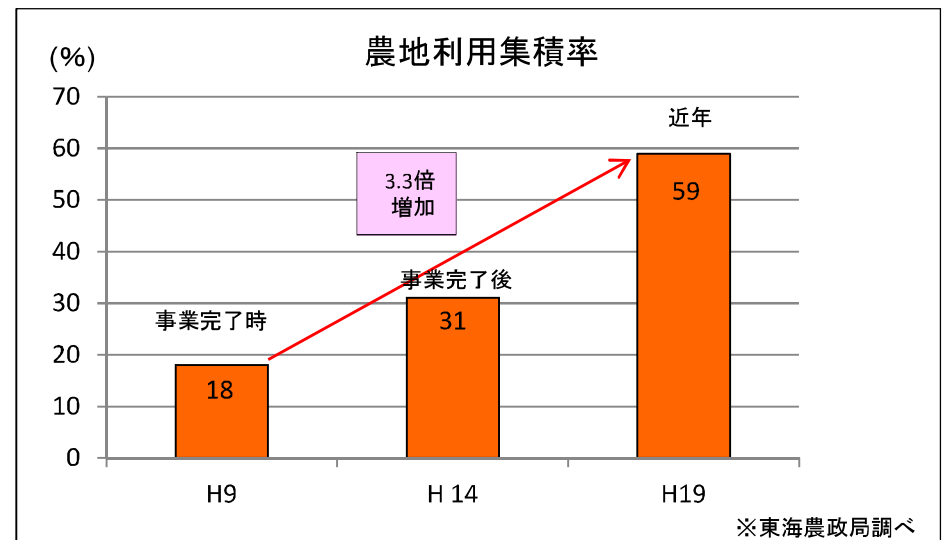
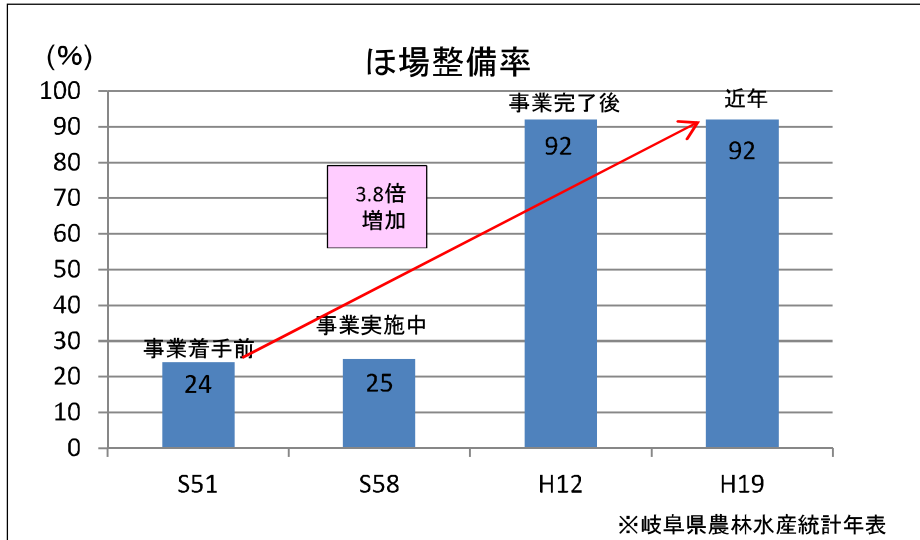
- 国営事業及び県営事業により、基幹排水対策を実施し、農地の排水改良などがなされ、小麦・大豆の作付面積が大幅に増加(13 ~ 19 倍)し、単収も約2倍に増加した。
- 耕地利用率は、約1.3倍に増加するとともに、小麦・大豆のシェアは約50%を占め、岐阜県下の大規模土地利用型農業地帯となっている。



# 4. 事業の効果

## (2) 農地集積の進展と労働時間の短縮

- 国営事業及び県事業の実施による排水改良とともに用水改良がなされたことにより、飛躍的にほ場整備が進み、農地の大区画化や農地の利用集積が図られた。
- そのため機械の大型化が可能となり、1戸当たりの経営面積も約1.8倍に拡大し、労働時間の大幅な短縮(約80%減少)が図られた。



## 4. 事業の効果

### (3) 農業経営の安定化

- 認定農業者が平成9年から平成21年にかけて約7.5倍増加した。
- 農業産出額は、完了時点では県全体では減少傾向にもかかわらず本地域では微増したものの、近年、農産物価格の低下傾向を受けて減少傾向にある。

